

3) 呼吸器材料の採取法

(1) 呼吸器材料の種類と検査用途

検体種別	主な用途・特徴
上気道検体	
咽頭ぬぐい液	急性咽頭炎・扁桃炎（A群連鎖球菌, 淋菌, アデノウイルスなど）の起因菌検索, ジフテリア菌の分離培養（偽膜形成時）, 易感染患者の監視培養に用いられる。
後鼻腔ぬぐい液	ウイルス感染症の抗原検査（インフルエンザウイルス, RSウイルス, アデノウイルスなど）, 百日咳菌の分離培養, 喀出による採取が困難な小児では喀痰（喀出痰）の代替えとして用いられることもある。
鼻腔ぬぐい液	黄色ブドウ球菌（特にメチシリン耐性黄色ブドウ球菌：MRSA）の保菌検索に用いられる。
下気道検体	
喀痰（喀出痰）	細菌性肺炎・気管支炎の起因菌検索に用いられる。最も採取容易な下気道由来検体であるが口腔内常在菌による汚染が生じやすい検体でもある。
誘発痰	喀出による採取が困難な場合に用いられる。 喀痰同様口腔内常在菌による汚染が生じやすい。
吸引痰	気管内挿管されている場合に用いられる。
気管支肺胞洗浄液 (BALF)	正確な起因菌検索が必要な場合に用いられる。日和見感染起因菌（真菌, ニューモシスチス・イロベチーなど）の検索にも有用である。
経気管支肺生検 (TBLB)	肺真菌症および結核の確定診断に有用である。